

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり報告します。

総 務 文 教 調 査 会

平成 30 年 8 月 6 日 (月)

9 時 58 分～12 時 21 分

全員協議会室

(委 員) 野藤委員長、小川副委員長

沖田委員、西川委員、永見委員、佐々木委員、道下委員、西田委員

(議 長・委員外議員) 村武、川上、串崎、上野、飛野、笹田、岡本、芦谷、澁谷、西村

(総務文教委員会 所管管理職)

〔総 務 部〕 砂川総務部長、山根総務課長、馬場安全安心推進課長

村瀧人権同和教育啓発センター所長

〔地域政策部〕 岡田地域政策部長、岡橋政策企画課長、田中地域プロジェクト推進室長

〔財務部〕 宮崎財務部長、草刈財政課長、森脇税務課長

〔金城支所〕 吉永支所長

〔旭 支 所〕 塚田支所長

〔弥栄支所〕 河上支所長

〔三隅支所〕 斎藤支所長

〔教育委員会〕 石本教育長、佐々木教育部長、市原学校教育課長、村木生涯学習課長

外浦文化振興課長

〔消防本部〕 佐々木消防長

(所管外管理職)

〔都市建設部〕 吉川建設整備課長

(事務局) 篠原書記

(報道) 中国新聞、山陰中央新報社

(傍聴) 1 人

議 題

1 執行部報告事項

(1) 災害の被害状況、支援等について

(2) 第 6 回浜田市人権尊重のまちづくり推進大会について

(3) 総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン及び総合戦略の進捗管理について

(4) 平成 29 年度健全化判断比率・資金不足比率 (速報値) について

(5) 浜田公民館拡張に伴う改修工事について (報告)

(6) ラ・ペアーレ浜田の所管換えについて

(7) 中央図書館における駐車場ゲート開放に関する社会実験について

(8) 城山公園整備における御便殿及び公衆トイレの整備方針 (案) について

(9) その他

(配布物)

○平成 30 年度運動会及び学習発表会等日程について

2 その他

【以下詳細は会議録のとおり】

【会議録】

(開 議 9 時 58 分)

野藤委員長

総務文教調査会を開会する。
早速議題 1 の報告事項に入る。

1 執行部報告事項

(1) 災害の被害状況、支援等について

野藤委員長

順次報告願う。安全安心推進課長。

安全安心推進課長

(以下、資料 (1) をもとに説明)

野藤委員長

説明が終わった。委員から質疑は。西川委員。

西川委員

高潮について。先日の台風では太平洋側に被害がかなり出たが、高潮についてハザードマップの整備や、対象となる住民への周知等も行われているのか。

安全安心推進課長

かなり地区が限定されてしまうが、水防団の警戒区域も相まって周知にかかっている。これはどちらかというとき期的なものもある。大潮の辺りが一番被害が起きやすいので、周知方法としてはパトロールをさせていただいているし、樋門管理についても適正に行っている。

今回については台風 7 号でもやったが、その後台風 12 号（逆走した台風）の際にも心配な時期があったため確認したが、台風 12 号では樋門閉鎖までは行かなかったものの、確実に点検を行っている。

野藤委員長

その他。沖田委員。

沖田委員

水害による直接被害ではないが、国府海水浴場から波子海水浴場の沿岸にかけて多量の流木が押し寄せてきたが、被害としてどう捉えておられるか。

安全安心推進課長

対応が大変難しい。県の水産事務所とも調整して、以前はそういうものは最大受入れということで、平成 25 年の際は受け入れる態勢を敷いた。実際の作業は県が行い、エコクリーンセンターや不燃物処理場で受け入れた。

沖田委員

水産事務所の方で重機を入れて片付けられたようだが、今なお大量に積まれている。これは今後どうなるのか。

安全安心推進課長
野藤委員長
道下委員

除去についても県と調整しながら取り組んでいきたい。
その他。道下委員。

今回は山陽でかなりの被害があったが、浜田市において 58 災
や 60 災等々の災害が続いた時には、職員派遣等の支援をしてもら
ったと思う。この度、山陽側に対するこちらからの派遣は抜け
がないのか、確認はされているのか。

安全安心推進課長

各課において過去に経緯があった所を通じて、まず被害の確認
をさせていただいた。いわゆる防災関係で言うと、茨城県銚田市
がうちの対応である。そこへまず被害確認をさせていただく。状
況的に必要であれば。今回副市長から熊野町に確認を取ってもら
った。各課が窓口として対応している。

道下委員

友好都市関係について説明いただいたが、私が言ったのは 58
災を支援してもらった市町村に対してはどうなのか。それは把握
していないのか。

安全安心推進課長
総務部長

申し訳ないがそこまで把握はしていない。

58 年災害や 63 災害の時は、基本的には県内他市を中心に応援
していただいた。それ以外に中国地方の色々な市町から来ていた
だいた。かなり前なので、その場所を確認して対応といったこと
はしてないが、今回はご承知のように岡山・広島両県の全域が被
災されており、特定の自治体ということではないので、基本的
にはまず県同士で情報交換して、県から各市町に支援を下すとい
うことで、県が中心に、岡山・広島の各市でどういう支援が必要か、
例えば土木技師に応援して欲しいとか、どのくらい欲しいとか、
情報が入ってきているので、それを受けて浜田市で可能な支援を
しようということで、給水や避難所の対応等をやってる。

今また追加で来ているので、特定の交流が現在もある所を優先
的に各自治体がやる、そうでない部分は県から来た支援要請内容
を見て、浜田市として可能な所に手を挙げていくやり方で対応さ
せていただきたい。

熊野町からも追加の土木技師派遣要請もあるようなので、それ
を優先的に今後対応していく。いかんせん、かなりの市町が被害
を受けているので、浜田市単独……ご承知のように浜田市も災害
復興室を設置して昨年の災害対応をまだやっている最中のため、

土木技師の融通がつきにくい状況ではあるが、なるべく協力したいと思っている。

野藤委員長 小川副委員長。

小川副委員長 ボランティアセンターの状況は、市が直接関わるよりは社協を通じてという形だと思うが、近くで言えば川本や桜江町にもボランティアセンターが設置されて、そこに対しても浜田や近隣市町村の社協が行っておられる。その人数の把握、充足状況、足りたのか少なかったのか、その辺りは把握されているか。

安全安心推進課長 申し訳ないが、我々ではなく地域福祉課の管轄になるので、そちらで整理していると思う。

(2) 第6回浜田市人権尊重のまちづくり推進大会について

野藤委員長 人権同和教育啓発センター所長。

啓発センター所長 (以下、資料(2)をもとに説明)

野藤委員長 説明が終わった。委員から質疑は。

(「なし」という声あり)

(3) 総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン及び総合戦略の進捗管理について

野藤委員長 政策企画課長。

政策企画課長 (以下、資料(3)をもとに説明)

野藤委員長 説明が終わった。この件は説明のみとしたい。質疑は8月17日(金)開催の全員協議会においてお願いしたい。またこの資料は全員協議会にも持参いただくようお願いする。

よろしいか。

(「はい」という声あり)

(4) 平成29年度健全化判断比率・資金不足比率(速報値)について

野藤委員長 財政課長。

財政課長 (以下、資料(4)をもとに説明)

野藤委員長 説明が終わった。委員から質疑は。西川委員。

西川委員 実質公債費比率と将来負担比率の、類似団体と比較した時の位置付けはどうなっているか。

財政課長 29年度分は速報値なので、28年度でしかないが、県内では1、

2位だが、類団についてはそれほど上位ではなく、全国の順位でも約800団体中560位くらいの実質公債費率で、将来負担比率が600位台なので、島根県全体が下位にある。類団内でも上位ではない。

ただ、数字を追っていくのか、健全化判断比率基準とのバランスもあるので、その辺のバランスを考えながらの財政運営が必要だと思っている。

野藤委員長

その他質疑は。道下委員。

道下委員

県内では上位、類団ではかなり低い。浜田市において非常に遅れているのが、老朽化した水道管の更新や公共下水道だが、その辺も含めての類団との比較は検討されているのか。

財政課長

先ほどの順位は全国の順位ではなく、類団の順位だ。水道や下水道については投資が必要だろうと思うが、それは水道の企業会計の中で組んでやっていかれるだろうと思う。実際更新を早めるという話も聞いている。水道の財務体質の中で順次やっていかれるのだろうと考えるが、その部分を早めることについては色々政策的なことも考えられるとは思う。

道下委員

水道会計にしても一般会計にしても、要は浜田市の財源。それを含めた報告という観点を思う。いつもいい数字が並べられているが、中身はどうなのだ。水道会計や公共下水道の事を考えると、私はすごく危惧する。

財政課長

いまご説明したのは健全判断比率、あくまで財政指標の中の一つ。その中でどのような位置を取るか、浜田市の基準がどのような数字になるかも一つの重要な観点だろうと思うが、中期財政計画の方で水道への繰り出しや、その他特別会計への繰り出しも含めた中で、一般会計が将来的にどうなるかをお示ししている。その中で浜田市トータルとしてどのような形で持続可能性が担保出来るかをお示ししているので、中期財政計画の中で議論していただければ幸いである。

道下委員

報告の時に、いい方向の数字を説明されたが、中期財政計画で中身を示しておられるが、水道会計も含めて云々もきちんと説明が欲しい。将来交付税が減少することも言われたが、もっと全体の説明を加えて欲しい。中期財政計画はまた別途説明があるので

ろう。健全化比率についても。私はそう思った。

財政課長

あくまで健全化判断比率の話だったので、そちらを中心にさせてもらった。浜田市全体の財政状況の見通し等々については、中期財政計画の中でご説明させていただきたい。浜田市の場合、早期健全化水準等々から健全化判断比率、かなり余裕がある位置にある。しかしながら中期財政計画で基金が枯渇して予算が組めない部分の方が数字上を追っていくよりも可能性が高いということの説明したかと思う。数字上を追っていくのではなく全体的な所での財政の健全性や持続可能性という議論は中期財政計画の中でしっかりさせていただければと思う。

野藤委員長

その他質疑は。西田委員。

西田委員

課長の色々な答弁をずっと聞いていた。最近の色々な答弁を聞く中で、現時点での財政は皆さんに安心感を与えている、そういう説明。しかしながら将来的には市民も行政職員も一緒になって、一定の覚悟が要するという説明、そういった両面が感じ取られる。国自体の財政を考えても、これから良くなるわけではないし、地方の負担が減ることもまずない気がしているし、そういった意味では普通交付税が減ることも考えないといけない。

課長の「今までこの市で定めた行財政改革を確実に実行していかなければならない」という言葉が最後の締めだと思う。これまでの説明にも人件費や職員の数の問題等色々出てきたが、行革の根本・本筋はこれだということを再度お聞きしたい。

総務部長

行財政改革は総務部が担当しているので私から答える。中期財政計画は先ほど来から議論が出ているが、将来 10 年後を見通しても、これから合併特例債がなくなったり算定替えで厳しいということは、財政から出ている。中期財政計画でも浜田市は今 400 億円くらいの予算を組んでいる。これまでも説明している類似団体よりかなり大きい。投資的経費もかなりたくさん使っている。今後 10 年後にはそれが 300 億円強の予算で見通している。当然仕事が減るので人も減らす。定員適正化計画もお示ししたり、先般は行革の特別委員会でも 29 年度の実施状況等もお示ししてきた。計画よりも少しずつ行革の実績が出ているので、これを維持しつつ財政運営が健全化するように取り組まなければいけない。

行財政改革の進捗状況や計画についてはその都度議会にもお示しして、ご意見も頂きながらさらに上方修正が出来るように取り組んで、職員が他市より多いということで縮減努力はしているが、何せ仕事が多いのが問題。仕事をたくさんしているということは他の類似団体より手厚い行政サービスをしている証拠。市民サービスに影響が無いような行財政改革や職員削減の努力を、これからいかにしていくかが重要だと思っている。それを頭に置きながら進めていきたい。

野藤委員長
佐々木委員

その他質疑は。佐々木委員。

比率について。25 パーセントの危険水域にはかなり幅があるということで。先日類団の数字も見たのだが、多分皆さんそんなに努力した数字ではないけれど、かなりマイナスもあるし良い所。浜田市は一時悪かったのをかなり努力されて今日に至っている。やっと落ち着いた感じなのか。

財政課長

実質公債費率で言うと平成 19 年度。一部実施段階であった 19 年度が 25.1。これが全国ワースト 6 位というのが一番悪い数字だったかと思っている。それからだんだん下がっていった。浜田市だけでなく全国的にも下がっていったので順位上はそんなに上がっていない。交付税が特別枠等で増えたような形で分母が大きくなって数字が減ったというのも当然あるし、各種行革や人件費縮減、投資の部分を一時縮減した影響もあったり、繰り上げ償還で実質公債費を落としたところもあって数字上は改善している。先ほど言った「増えていく」という状況はあろうかと思うが、それほど 25 パーセントに近づくという所ではないような形で運用していくことが肝要だと思っている。

佐々木委員

25 パーセントを越えることは当然あってはならないと思っている。それまでの地方債が国県に管理される、18 パーセントというその前の段階があるが、県内でもこれに近い厳しい団体もあるのでたいへんだらうと思う。この 18 パーセントというのも一応大きく視野に入れていく必要があるのか。

財政課長

起債の制限等々があるので、一つのラインだと考えている。それには当然引っかからないように運営していくのが重要だらうと思う。

佐々木委員

25 パーセントというところかなり幅があるが、18 パーセントで見るとそれほど余裕もないのかなという気はする。今後の財政計画でもそれに近づく様子はないので、課長が言われたのは借金比率より財政規模そのもの、つまり単年度の赤字の状況の方がよほど心配だという話。400 億円くらいの標準財政規模からいくところかなり、倍近い規模で浜田市は今運営しているが、ここを何とかしないと赤字、予算が組めない、そういう状況の方が心配して我々はしっかり見ていった方が良いのか。

財政課長

おっしゃったとおり、浜田市は 400 億円くらいの予算規模がある。類団で言えば 200 億円程度の予算規模が平均、もっと少ない所もある。先ほど総務部長からもあったように、人も事業も多いという所をいかに縮減していくか、行財政実施計画をいかに適正に実行に移していくか、公共施設適正配置の計画をいかに具体的に実行に移していくかを、粛々と計画通りやっていく、それで身の丈に合った形で持続可能性が担保出来るような体制に、いかに早くやっていくかが将来を見通した中で重要になってくる。基金の残高を中期財政計画で示したように、そこがポイントになってくるのだろうなど。持続可能性を担保するには重要になってくると考えている。

野藤委員長

その他。

(「なし」という声あり)

(5) 浜田公民館拡張に伴う改修工事について (報告)

(6) ラ・ペアーレ浜田の所管換えについて

(7) 中央図書館における駐車場ゲート開放に関する社会実験について

野藤委員長

3 件まとめて報告願う。生涯学習課長。

生涯学習課長

(以下、資料 (5) (6) (7) をもとに説明)

野藤委員長

説明が終わった。1 件ずつ質疑を受けたい。(5)について質疑は。道下委員。

道下委員

西分庁舎 2 階に倉庫が 2 つあるが、この倉庫は上下水道の倉庫なのか、それとも公民館から持ち上がった倉庫なのか。

生涯学習課長

米印が付いている倉庫が 2 つある。これは公民館としての倉庫。

道下委員

それは今まではなかったのか。今回改めてここに設置したのか。

生涯学習課長 1階にもあるがぎゅうぎゅう詰めが入りにくかったため、少しゆとりを持たせた。あと外にある倉庫もなるべく中に入れようということで今回新たに2階に作った。

道下委員 では1階の倉庫はそのままで、この倉庫が増えたのか。

生涯学習課長 はい。どうしても2階に多目的集会施設等を作ると、机椅子等が要るのでそれを入れるためにも2階に倉庫が要るということで、新たに作った。

野藤委員長 その他質疑は。佐々木委員。

佐々木委員 これから工事を行う、予算が1千万円ということで。だいたいざっくりどの辺にこの予算が……全体なのだろうが、もう少し詳しく、改修内容や予算の使い方について知りたい。

野藤委員長 分かる範囲で良い。

生涯学習課長 主には壁を取っ払ったり、壁を新たに作ることだったり、増やす消防設備もある。建築に委託していて詳細を把握していない。多目的集会施設のフローリング床等にも経費を使う。

佐々木委員 機能として案を出されたのは教育委員会だと思う。規模はある程度想定されての工事発注だったのか。

生涯学習課長 この度の改修には浜田公民館職員とも話をして、1階フロアのパーティションを開いたり閉じたりすると結構時間もかかるし、1階は研修室として使いたい。キッズルームを2階に持って上げるための書棚を作りたいという意見も加味して計画した。

野藤委員長 その他質疑は。永見委員。

永見委員 2階の案内図を見ると、男子トイレと女子トイレが網掛けになっているのはどういう意味か。

生涯学習課長 共有スペース。公民館専用ではないスペース。

永見委員 今回これは改修範囲外か。

生涯学習課長 おっしゃるとおりで、今回の改修対象になってない。

永見委員 平面図の中で、上下水道部の書庫横のスペースや、真ん中の倉庫の何も記載していないスペースはどういう意味か。

生涯学習課長 上下水道部の所有する休憩所等が入っている。公民館で管理する部署ではない。

永見委員 今回の対象外という意味か。

生涯学習課長 はい。

永見委員	了解した。
野藤委員長	他に。
	(「なし」という声あり)
野藤委員長	(6)について質疑は。西川委員。
西川委員	そもそもラ・ペアーレ設置の目的等もある。所管が変わることによって目的が変わることがあるのか。
生涯学習課長	特に条例上においての目的を変える予定はない。
野藤委員長	その他。
	(「なし」という声あり)
野藤委員長	(7)について質疑は。道下委員。
道下委員	夜間の違法駐車が3台とのことだが、どのように考えているか。
生涯学習課長	この3台は統計上、同じ車両なので注意喚起をしっかりとしていきたい。
道下委員	防犯カメラ等は付いているのか。設置したらわけもないことだと思うのだが。
生涯学習課長	館内に向けてのカメラはあるが、駐車場に向けての防犯カメラはない。今後検討したい。
野藤委員長	西田委員。
西田委員	先週この委員会で武雄図書館にも視察に行ってきた。図書館本来の姿はもっと開放的で行きやすく、出来るだけ障害のないものい。ゲートも開放された方が良く私は考えている。一部の方が本来の利用目的以外の駐車をされるということだが、自然と無くなっていくように環境を変えていく、皆の意識を変えていくのが大事かなど。本来図書館には図書館の目的があるので、それに集中されて。ゲートは廃止の方向で今後やっていただきたい。
生涯学習課長	そういった方向で検討させていただく。
	先ほど道下委員への回答に訂正箇所がある。駐車場に防犯カメラは設置してある。大変失礼した。
野藤委員長	その他。西川委員。
西川委員	図書館の開館時間を過ぎると、返却する人が一時的に停める所は必要だが、夜間は基本的に必要ない。夜間に遊休施設になるなら夜間だけ貸してお金を取るという方法はどうか。
生涯学習課長	考えさせて欲しい。

野藤委員長

その他。

(「なし」という声あり)

ここで休憩を入りたい。再開は11時15分まで。

(休 憩 11時06分)

(再 開 11時15分)

(8) 城山公園整備における御便殿及び公衆トイレの整備方針(案)について

野藤委員長

文化振興課長。

文化振興課長

(以下、資料(8)をもとに説明)

野藤委員長

建設整備課長。

建設整備課長

(以下、資料(8)をもとに説明)

野藤委員長

文化振興課長。

文化振興課長

(以下、資料(8)をもとに説明)

野藤委員長

9月議会に補正予算に挙がるということで了解した。

説明いただいた件について、委員から質疑は。西川委員。

西川委員

今回御便殿は浜田市の歴史文化の拠点施設という位置づけだが、北前船等観光という視点からのお話が無い。城山と北前船寄港地を観光設備として一体的な整備という話もあったと思うが、現在の計画ではそれが見られない。それについてお考えをお聞きしたいのだが。

文化振興課長

西川委員の言うとおりの。外ノ浦の観光振興に対しての繋がり。もちろん御便殿の中においても展示施設としてコーナーを設け、観光的側面からも案内を行う計画をしている。調整については今後詰めていくことになると思う。

西川委員

現在、観光の方でも北前船については案内板の設置等の計画が進められていると思う。今回これがパッと出てきた感じだが、観光と文化振興、両方でのプロジェクト的な、庁内を渡ったような組織で考えるべきではないか。400年推進室との連携や、改めてプロジェクトを作るとか、そういう形で進めないと文化と観光と両立出来ない気がするが、どうお考えか。

文化振興課長

特化した組織立てというご意見だと思う。そうなれば良いが、現在の組織をもって横の繋がりとの連携を取っている、より連

	携をとっていかないといけないとは思っている。
西川委員	予算が二重に使われないような配慮をしながら進めていっていただきたい。
野藤委員長	他に。道下委員。
道下委員	御便殿の耐震は充分なのか。
文化振興課長	平成 18 年の移転当時に耐震器を設備しており、改修時にはその部分に手を加えず慎重に扱う。
道下委員	耐震は出来ていると。もう 1 点、御便殿の A 案 B 案が提示してあるが A 案の (6) 運営費に、支出 690 万円と、B 案が 498 万円。人件費や光熱費だと思う。実質運営日数が 300 日と 120 日とある。運営日数が倍ほど違うのに支出にあまり差が無いのは、手違いなのか。
文化振興課長	A 案は臨時職員 1 名、B 案はパート 2 名の対応を考えており、それぞれ算出したところそうになっている。
道下委員	分かった。
野藤委員長	その他。佐々木委員。
佐々木委員	財源に 3 つ内訳が出ている。城山整備基金 2200 万円はまさにここに使うのが一番妥当なのだろうと思うが、2 番目の浜田自治区の振興基金 3300 万円を充当するに至った考え方、発案がどのように出てきたのか伺いたい。
教育長	浜田自治区の地域振興基金を活用するという考え方だが、御便殿を宗教法人から寄附していただく段階で、浜田城関係の資料館としての活用を前提で寄附を受けているという事情がそもそもある。18 年に寄附を受けているが、この話が最初に出たのは平成 8 年。それから 10 年間協議をする中で最終的に 18 年に寄附を受けた経過がある。平成 8 年といえば旧浜田の時代。その頃から御便殿は浜田城関係の資料館として整備したい思いがあって進められてきた事業なので、これについては浜田自治区地域振興基金を活用する方向で、浜田地域協議会にも今日お話をさせていただくことになっている。
佐々木委員	基金を使う話がどこから出たのは分からないのか。
教育長	どこからといえば、財政協議の中で出てきた。先ほど話したように、この事業は旧浜田の時代から継続していたので浜田自治区

財務部長

の基金を当てるのが妥当だろうと、浜田自治区の区長である副市長が最終的に判断した。

これは地域振興基金の使途協議の流れの中で考えた時に、浜田自治区の地域振興基金がまだ残っているので、それを使うのが妥当だろうという結論に至った。

考え方としては、御便殿の引き移転は自治区制度上の自治区枠でやっていて、それに対して今回追加でお金が必要。基本的に昔で言うと自治区枠があって、当初枠があって、当初枠と地域振興基金で自治区事業をやっていくわけだが、内訳で見ただけならば今回の3300万円というのは展示品等で使うことになっていて、これが「適債性が無い」というのがある。そこで地域振興基金が旧当初枠でも使えない、適債性も無いということで。他の自治区事業で基金を使う時には、有利債が充てられないソフト関係は地域振興基金でやっていこうという制度でやってきたので、今回は自治区事業の位置付けで、地域振興基金を有効活用したらどうかという議論になったと認識している。

佐々木委員

よく分かった。思いつきではなく経緯があったとのことだと理解した。

あと気になるのは、先ほど耐震化の話が出たが耐震化は大きな骨組みだけの整備なので、改修についてはこの建物の古さからいくとこれだけでは……今回は最低限なのか、それともある程度先を見通した整備なのか、その辺がちよっと分からないので答えてもらいたい。また近々大改修のような整備が必要な建物なのか。改修費についてどのような考え方でおられるのか伺っておきたい。

文化振興課長

建物の改修についてお話をさせていただく。必要最小限の改修ということで、建物の性格上、これまでの歴史的な側面から言っても、なるべく手を掛けたくないという思いが我々にあるので、敢えて必要最小限の改修に留めて、瓦等は都度改修が必要かと思うが、あくまでも現在のまを保存して残していきたいスタンスでいる。

佐々木委員

最低限、しかも現状維持でとなると、今後の整備を考えた場合、高価で専門的な改修が必要なのだろうなど。建物の中の重要な部

屋がどこかにあって、そこを中心にこの建物の存在価値を位置付けとして持っていれば、ある程度この建物としての価値があるということもよく聞く。現状維持であり中身を変えずになると、かなり改修費が高くなると感じたのだが、その辺はどうなのか。

文化振興課長

佐々木委員の言われるとおり、建物には経年劣化というものがあるので、必要が生じれば対応しなければいけないと考えている。特に玉座部分はしっかり補強しながら守っていく必要がある。

野藤委員長

西田委員。

西田委員

公衆トイレについて。社会資本整備総合交付金ということだが、そもそもは城山整備一帯全体の計画の中で社会資本整備総合交付金を申請されていたと思う。年度ごとにいくらかずつ交付金が付いて、それによって整備されているが、元々の城山整備に関わる交付金を、どういう計画でどこまで使って整備しようと考えておられたのか。

また、この1、2年で随分整備されてきたが、社交付金を使う計画にはまだこれが残っていると、全体計画の中でこういう計画で社交付金を申請している、残りはどういう対応をしているという、全体計画の中でお金の使い方、補助金の使い方も議会に対して示していただきたいと思うのだが、いかがか。

建設整備課長

城山公園整備事業の中では、まず9号線から浜田川までの220m弱の進入路整備。御便殿の整備は城山公園のこのたびの社交付金事業には入っていない。トイレ、駐車場、全体図における広場の所、遊歩道、青色で示している周遊道路（管理用道路）、こういった所が社交付金対象事業となっている。都市計画公園区域内に入っていることが絶対条件になっている。御便殿も区域内ではあるが対象外。あと、本丸部分の眺望確保のための伐採等も社交付金事業対象外になっている。

西田委員

了解した。御便殿の耐震について話が出たが、平成18年の折に拝見したところ、今の計画で展示室となる予定の一番広い部屋は、屋根の重さに耐えきれず鉄柱で補強してあった。併せて、障子や襖の一部を壁にして耐震補強をされていた。鉄筋コンクリート造の建物等と比較すると耐震化が難しく、耐震化を完全にしようすると相当なお金も必要。大正天皇が皇太子時代に泊まれた

という建物の良さ、魅力も若干減る気がする。長い目でこれをきちんと使って行こうと思えば、とてもではないが相当予算オーバーすると思う。その辺をしっかりと考えて見積もりをされた方が良いと思うが、いかがか。

文化振興課長

建物自体がしっかりなくては、良い建物でも壊れてしまっただけは元も子もないというご意見だと思う。必要最小限と言えば語弊があるが、設計の段階でそういったことも考慮しながら検討していきたい。

西田委員

その件はこれ以上申し上げない。

補足資料の方で言えば、2番目の（仮称）浜田歴史資料館整備事業の検討について。また検討組織を立ち上げて検討する計画が出されている。そのメンバーが、自治区地域協議会関係者、歴史あるいは教育文化財関係者とのこと。今まで色んな組織の代表の方々がしっかり検討されて色んな意見を出された中で、最終的に提案された規模と場所になったわけだが、これをまた同じような組織で新たに色んな意見を検討されても、貴重な意見がプラスアルファでいただけるのか、すごく疑問に思う。今まで出た意見をもう少ししっかり集約された方が良いと思う。あくまで予測だが、ここでまた検討されると、結局昨年3月に出された提案よりも規模を縮小して、最小限コンパクトになるしかないと思うのだが。郷土の子供たちに故郷への愛着と誇りを持ってもらうには、本当はもっとソフト的な事の方が大事だと思う。また同じような組織を立ち上げ、同じような検討されてもどうなのかというのが率直な感想だが、いかがか。

教育長

確かに今まで何年もかけて協議して、一定の方向性等を出していただいた。しかしながら、ここでまた新たに検討組織を立ち上げる一番のポイントは、必要性を再検討したいという意図がある。同じような議論になるかもしれないが、その点をしっかりやるために組織を立ち上げた。そこで「必要性がある、整備をする」という方針が出たら、概略の部分はこの検討組織の中で敲いてもらう。それが半年くらいかなと思っている。

補足資料の一番下に書いてあるように……確かにソフト的な所、教育関係で学校の利用だったり社会教育の中でどう活用して

いくかといった所、その詰めが一番のポイントになる大事な所だと思っている。半年間行う検討組織の方向性が決まった後、またしっかりこれについて協議を進めていきたい。

繰り返しになるが、もう一度、必要性から検討したいために組織を立ち上げることをご理解いただきたい。

西田委員

今までの組織委員の議論では、財政的にハコモノは今しか出来ないというのもあるし、要るか要らないかで言えば誰だって欲しい。これが30年前ならいくらでも賛成すると思うが、今の財政から将来財政を推計した時に、ランニングコストを含め総合的に理解した上で検討していかなくてはいけない。それが一番大事なポイント。議会もそこを中心にしっかり議論させていただいていた。この検討委員会の皆さんが、今の財政から将来の浜田市財政、色んな事業、関連するものをある程度把握された中で検討されるのかどうか、それも非常に大事なポイントになると思うので、踏まえてお願いしたいのだが。

教育長

大事なお指摘を頂いたと思う。今までの議論については当然、無駄にしてはいけないと思っている。浜田市のおかれている財政状況、将来的な展望、そういったものも検討委員に十分説明する中で、方針を協議していただこうと思っている。十分配慮していきたい。

野藤委員長

永見委員。

永見委員

耐震壁については皆さんが質問されたので私からは控え、トイレについて1点聞きたい。最初の整備方針の考え方の中で、城山や御便殿利用者の利便性を図るために公衆トイレを整備することによって、駐車場と御便殿の間に設置される計画だが、周遊道路を上がって、上の部分のトイレはどのような状況になっているのか。

建設整備課長

上にトイレはない。観光協会が昔に管理していたトイレが焔硝蔵の入り口にあったのだが、あれは現在撤去済み。上で使えるとすれば青少年ホームのトイレが開館時間帯であれば使える。それと護国神社社務所のトイレを使えるように配慮いただいている。公衆トイレはない。

永見委員

上に新たなトイレの設置は考えておられないということか。

建設整備課長

当初、城山公園の上の方にトイレを計画していたが、環境調査中に貴重な昆虫類の生息域が計画区域付近で見つかったため、建設が難しくなった。また、上となると浄化槽の排水管工事もかなり大規模になる。今回の城山公園整備は掘削や切土は行わず、土を載せて傷めないようにする整備方針になっているので、トイレ設置は断念した。

永見委員

理解した。

野藤委員長

その他。沖田委員。

沖田委員

(仮称)歴史資料館について。切り離して検討するとなっているが、御便殿に展示室を作って更に資料館を作るといって、資料館ばかり2つも作るのかというのが素朴な疑問。御便殿の展示室と歴史資料館は、そもそも何が違うのか。

文化振興課長

展示内容についてのご質問かと思う。御便殿についてはパネル掲示を主体とした簡便な展示内容を考えている。仮に歴史資料館となると、古代からの品を収めた展示ケースを多く使う方針を考えているので、違いが出てくると思う。

沖田委員

何となくわかるのだが、一つの建物に集約した方がコストも人件費も当然下がる。それをわざわざ切り離す理由が良く分からないのだが。

文化振興課長

今回の御便殿の整備については、来年開府400年や外ノ浦の日本遺産追加認定を含めての展示案内となっている。観光媒体としても多くの側面を含めているので、その辺が大きな違いの一つになろうかと思っている。

沖田委員

要は開府400年に合わせたという事情も分かる。確かに開府400年はその年しかないと思うが、それ以降にまた新しいものを一つ建てるのは、どう考えても無駄にしか思えない。ずらしてでも一つにするお考えはなかったのか。

文化振興課長

今の御便殿の活用も大きな検討課題となっている。浜田藩の歴史に関して、あの場で展示案内することが効果的だし、追加認定ということもあったので、それらの側面から判断して今回御便殿に、浜田藩の歴史に特化した展示を計画されている。

野藤委員長

小川副委員長。

小川副委員長

古くは平成8年から議論がずっと積み上げられてきたとのこ

とだが、今回この提案が出されるきっかけとすれば6月議会で「活用すべき」という意見があったからということだ。それからすると1か月そこそこでスピーディにここまで話が進んできた印象を持つ。

現時点で、展示資料の種類の種類を精査や検討はされたのか疑問に感じた。整備を急ぐのでそれに合わせながら今から展示内容を決めていくのか。現状をお聞きしたい。

文化振興課長

御便殿の展示内容に関してだが、浜田城の紹介、浜田藩の紹介、城下町の紹介、北前船と外ノ浦の紹介、城山周辺の自然もかなり重要視されているのでそれらの紹介、あとは観光部門の大まかな紹介、現在はそういった内容で考えている。

小川副委員長

今後検討される資料館とは、全く別のものを展示される位置付けだということが分かった。

もう一つ。御便殿整備という形で言われているが、整備が終わったら、この建物はどのような呼称になる予定か。

文化振興課長

現在は「(仮称) 浜田城北前船関係展示案内施設」となっているが、今後しっかり検討しながら決定していくのではないかと考えている。

野藤委員長

12時を回っているが、他に。西川委員。

西川委員

先ほどからの質疑と答弁の中で、はっきりした答えが聞こえなかったのだが、これだけの整備費をかけてこの設備を一体何年間運営していく予定で計画されているのか。

文化振興課長

2か年をかけて整備する予定。その後耐震の年数等もあるが、これを建て替えるのは建物の存在意義から外れてしまうので、現在の予定では概ね廃止の形を取らざるを得ないと考えている。何年後かははっきり申し上げられない。

西川委員

何年後の計画がない計画は疑問。お金の計算も何年間という見通しがあるということだと思う。年間600万円の維持管理費が要る。10年で6千万円、20年で1億2千万円。今回開府400年を前提にした整備だということだが、例えば開府400年イベントに合わせた仮設展示場を作る考えはなかったのか。常設ではなく開府400年イベントの期間だけ、御便殿を使った仮設展示をするのでも目的は達するのではないか。

文化振興課長

仮説的に開府 400 年イベントに合わせてやるだけではない。保存していくべき施設なので、矛盾はあるかと思うが経過を見ていて、という感じ。

西川委員

長く使っていくならそれなりの計画があって然るべき。急いで作った計画だと見受けられるので、実施するには更に検討を重ねていただきたい。

(9) その他

(配付物)

○平成 30 年度運動会及び学習発表会等日程について

野藤委員長

1 件の配布物がありますのでご確認をお願いします。
その他、執行部から何かあるか。税務課長。

○入湯税の課税免除について

税務課長

(以下、資料をもとに説明)

野藤委員長

これは議会に出るので報告だけで。
他に、執行部からあれば。学校教育課長。

学校教育課長

資料はない。既に広報はまだ 8 月 1 日号でも周知させていた
いているが、8 月 20 日から 22 日に、島根県立体育館の竹本正男
アリーナにて全国中学校体操大会が開催される。市役所前の懸垂
幕、岩多屋さんにご協力いただき啓発懸垂幕の掲示、各会議でご
案内させていただき、おもてなしをもってたくさんの方に見てい
ただけたらと考えている。先日の県総体において浜田一中、旭中
の生徒が男女とも団体、個人で全国大会に出場する。地元の子供
たちが参加するので、議員の皆さんも時間の許す限り足を運んで
声援を送っていただけたらと思う。

少し事務連絡的な物を再度議員の皆さんにお配りしようと思
っているのですが、またご確認いただきたい。なお、明日明後日は同
じ県立体育館で中国大会が開催される予定。中国地方の選手が来
られる予定。8 日に演技があるので県体に足をお運びいただけた
らと思う。

野藤委員長

是非とも議員の皆さん、応援をお願いします。
委員から何かあれば。

(「なし」という声あり)

野藤委員長

それでは、ここで執行部からの報告事項 (8 件) と配布物 (1

件) 及び先ほどのその他の報告事項 1 件について、

全員協議会へ (1 そのまま提出し説明すべきもの、2 資料配布のみとすべきもの、3 提出の必要はないとするもの) の決定をしたい。

総務課長

執行部側の意向を報告いただきたいと思う。総務課長。

(1) 各調査会で報告するので全協での資料配布は無し

(2) 資料配布のみ

(3) 資料配布と説明

(4) 資料配布のみ

(5) //

(6) //

(7) //

(8) 資料配布と説明

(9) 資料配布のみ

野藤委員長

以上、執行部側の意向が報告された。委員から意見は。

(「なし」という声あり)

野藤委員長

では、そのように決定する。

執行部はここで退席されて構わない。

《 執行部退室 》

2 その他

野藤委員長

浜田開府 400 年ポロシャツの申し込み締め切りが 8 月 10 日となっているので、期限までに代金を添えて事務局へ申し込んで欲しい。

その他で、委員から何かあれば。

(「なし」という声あり)

以上で、総務文教調査会を終了する。

(閉 議 12 時 21 分)

浜田市議会調査会規程第 6 条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

総務文教委員長 野藤 薫 ⑩